

令和8年3月18日

オンデマンド交通実証実験運行管理システム導入業務委託公募型プロポーザルに関する質問及び回答について

No.	質問事項	質問内容	回答
1	実施要領 2 頁 7(2) 契約保証金	白井市財務規則第 1 3 9 条第 4 項第 3 号に該当するかの判断は公募終了後に協議し決定することと認識してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
2	実施要領 6 頁 18(2) 第 2 次審査	第 2 次審査方法について、プレゼンテーション及び質疑の時間は、凡そ何分程度を見込まれておりますでしょうか。 また、プレゼンテーション会場への入室可能人数及び、協力事業者の同席可否見込みをお聞かせください。	プレゼンテーションは準備時間を含めて 4 0 分以内、質疑応答は 1 5 分程度を予定しています。 会場への入室可能人数は 4 人以内です。協力事業者の同席は可能です。
3	実施要領 6 頁 18(2) 第 2 次審査	企業名等を隠した状態で、提案書の内容に沿った動画による説明は可能でしょうか（アプリ・管理画面等を想定）。	可能です。 なお、当日は、当市が会場に用意するプロジェクター及び HDMI ケーブルをご使用いただくことも可能です。
4	実施要領 6 頁 19(2) 提出書類の作成方法	審査の公平性観点から提案者名等が特定できる名称やロゴマーク等を使用していない副本 7 部を提出するものと推察しますが、提案書面に連携先企業の名称を記載することは問題ありませんでしょうか。	差支えありません。
5	実施要領 9 頁 別紙 1 評価基準	2 次審査の配点が、×6 と記載がありますが、評価委員は 6 名の認識で相違ありませんでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	仕様書 2 頁 5(2) 運行管理システムの導入	運行車両 2 台分のドライバータブレット及び、通信契約は、白井市又は、運行事業者が用意される認識で相違ありませんでしょうか。	お見込みのとおりです。

7	仕様書 5 頁 別紙 運行管理シ ステム要件一覧	<p>システム要件一覧は、実証運行開始前までに、全ての機能を具備する必要があると認識してよろしいでしょうか。</p> <p>例えば、実証運行では使用しないが、本格運行の際に必要な機能も記載されている場合は、お見積りに関わりますためご教示いただければ幸いです。</p>	<p>システム要件一覧に記載した全ての機能を具備してください。ただし、これらのうち下記の機能の実証運行期間における使用の有無は、第 2 次審査での提案内容を踏まえた受注予定者との協議により決定しますので、第 2 次審査の提案時に当該機能の使用の有無を明らかにしていただき、見積額もそれに見合った額にしてください。</p> <p>(実証運行時における使用の有無を確定しない機能)</p> <p>1 デマンド配車システム (予約・配車・運行管理に関わる基本機能) 中、</p> <p>ツ システム上でデジタルクーポン、定期券 (サブスク) 等の発行・運用が可能であり、ユーザーがアプリ・Web 上でこれらを購入できるよう、クレジットカード決済サービス等との連携機能を有すること。また、これらの機能について、国内での実績を有すること。</p> <p>テ MaaS アプリ等への API 連携が可能であって、かつ、この機能について国内での実績を有すること。</p>
8	仕様書 5 頁 別紙 1 ク	<p>乗降ポイントとは、ユーザーが指定した乗車降車地点に対して、必要であればシステムが運行効率上で最適な乗車及び降車地点を選択し、ユーザーに確認させる機能を具備していることという認識で相違ありませんでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
9	仕様書 5 頁 別紙 1 ケ	<p>時間のずれ修正とは、配車システムが運行開始後の実際の運行実績に基づき、配車予想時間や、配車から降車までの時間を学習し、予測時間の算出を自動で修正するプログラムし、実態と精緻に近づけることを求めるシステム使用という認識で相違ありませんでしょうか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>

10	仕様書 5 頁 別紙 1 コ	<p>最適な配車で示す、「常に最適な車両の配車が可能なシステム」について、「予約・運行状況の変動」及び「常に」とは以下の認識でよろしいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約状況の変動・・・既に複数の予約が各号車に割り振られている状況で、新規予約のリクエストが入った際に、既に割り振られた号車も含め配車を再計算する ・運行状況の変動・・・ある 1 台の号車が、渋滞等で運行に遅れが発生した場合に、他の各号車を含め配車を再計算する ・常に・・・10 分に 1 度など決められた時間間隔で再計算するのではなく、時事刻々と変化する状況を鑑み常時最適な車両の配車を計算する 	お見込みのとおりです。
11	仕様書 P6 輸送能力の保証について	<p>50 人/日以上輸送能力について、実証運行期間中に予約が取りづらい状況が発生した際の実績を基に輸送能力の検証を行い、不足する場合はシステム改修を無償で行うという理解であっておりますでしょうか。また、システムの改修だけでは輸送能力が不足する場合は、システム会社負担で 3 台目の増車等も検討する必要がありますでしょうか。</p>	<p>システムの改修についてはお見込みのとおりです。</p> <p>また、システム改修後も輸送能力が 2 台で平均 50 人/日を下回った場合の対応は別途協議に抛りますが、本委託期間内においては増車以外の方法で対応することとします。</p>

以上